

(リスクアセスメント) 円形水路補修工(編鋼板設置) 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年12月1日	2tトラック、2tダンプ	コンプレッサー、ブレーカー、チップパー	ヘルメット、安全靴、安全チョッキ、防振手袋	編鋼板、M6アンカー
改訂日	令和6年12月1日	連絡車	ハンマドリル、コンクリートカッター	保護メガネ、マスク、しらすんだー受信機	セメント系補修材
作成者	清水			飛散防止ネット	錆止塗料スプレー
必要資格等	【運転免許】普通、準中型、中型【資格】研削砥石取替(特)、振動工具(特)、			作業人員	5名
備考					その他

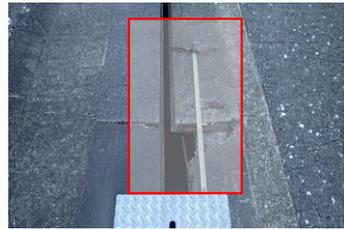
作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因		危険有害要因低減対策	誰が		対策後		参考図(写真等)
				可能性	重大性		評価	点検・確認	可能性	重大性	

<b>準備工</b>		<b>作業前ミーティング</b>									
	1	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	4	5	20	体調の確認、アルコールチェックを行う	全員	1	1	1
	2	服装、保護具の点検をする	保護具を忘れてしまい、ケガに繋がる	3	4	12	確認時に保護具の数量不足が無いようにする。	全員	1	1	1
	3	機械・工具等の点検をする	機械・工具使用時の故障によるケガ	3	4	12	作業前点検を行い、不備があるものについては取替える	全員	1	2	2
	4	朝礼、KYミーティングを行う	注意事項を聞き落とし現場で事故を起こす	3	4	12	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1
	5	作業手順の確認をする	手順が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	5	15	作業内容、作業手順を確認し役割を明確にする。	全員	1	2	2
	6	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2
	7	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤ、数板の落下	4	4	16	指差呼称と触手による車両点検と物理的落下処置をする	全員	1	2	2

<b>移動</b>		<b>現場への移動</b>									
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	5	15	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	5	5
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	適用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	5	15	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	5	5
	4	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	3	9	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	0	0
	5	規制内での移動	車両同士、または作業員との接触	4	5	20	車両移動は周囲の安全を十分に確認する	運転手	1	5	5
			後退時、誘導員との接触	4	5	20	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う	保安員	1	5	5

<b>本作業</b>											
	1	適切な保護具の着用	保護具未装着によるケガ	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2
	2	職長は、安全管理に心がける	作業員の不安全行動	3	5	15	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する	職長	1	2	2
	3	カッター工	保護具未装着によるケガ	3	3	9	適切な保護具の着用確認	作業員	1	1	1
	4	砕り工	ハツリ時に小石が飛散し通行車両に当たる	5	2	10	飛散防止ネットでの養生(柵りガードなど)	作業員	2	1	2
		砕り工	振動工具の連続使用による振動障害	5	3	15	適宜後退しながらの作業を行う	作業員	2	1	2
	5	ガラ積込	重量物を持つことによる腰のケガ	4	3	12	二人等、複数人作業による負担の軽減	作業員	3	2	6
	6	補修材で補修	保護具未装着によるケガ	3	3	9	適切な保護具の着用確認	作業員	1	1	1
	7	アンカー設置	振動工具の連続使用による振動障害	5	3	15	適宜後退しながらの作業を行う	作業員	2	1	2
		アンカー設置	打込み時にハンマーで指を詰める	3	3	9	手元に注意し作業をする	作業員	2	1	2
	8	編鋼板設置	後半の小口で手を切る	3	3	9	適切な保護具の着用確認	作業員	1	1	1

<b>片付け</b>		<b>片付け</b>									
	1	清掃	清掃不足によるガラ等の飛散	3	2	6	離脱前の最終確認を行い、確実な清掃を実施	全員	1	1	1
	2	車両の離脱	車両荷台の飛散防止措置忘れ	3	5	15	飛散防止ネットの設置、場合によってはロープ掛けも行う	全員	1	1	1
		車両の離脱	規制離脱時、一般者との接触	2	5	10	基本的には保安員の各図に従うが、運転手が危後と判断した場合はその限りではない	運転手、助手、保安員	1	2	2



- 【セーフティーバイブル】**
- ・全体編【WH-10】保護メガネ、防護面
  - ・全体編【WH-11】耐切削手袋
  - ・全体編【WH-12】後退誘導員の配置
  - ・全体編【WO-11】飛散防止用具
  - ・全体編【WO-12】ブレーカー等高压ホース連結